

道経連通信

No. 700

発行所／北海道経済連合会

TEL:011-221-6166 (代表) / FAX:011-221-3608

発行人／菅原 光宏 全10頁

編集／若松 幸絵、袖川 知恵美

2018年7月5日号 (毎月5、20日発行)

今後の主要事業

【7月以降の主な行事予定】

日時	行 事		
	場 所	グループ・局	担 当
7月31日(火) ～8月3日(金)予定	平成31年度 政府予算要望活動		
8月4日(土) 7:30～16:30	「みらい事業見学会」 (※詳しくは、後記「掲示板」をご覧ください)		
	(株)植松電機様、北海道大学様	企画総務グループ	若松、猪狩

【7月以降の講座講習会】

日時	講座講習会名		
	場 所	グループ・局	受講料
7月18日(水) 19日(木) 10:00～17:00	実践型職場リーダーシップ研修		
	道特会館 5階 大会議室B	労働政策局	会員 23,760円 一般 30,240円
7月26日(木) 10:00～16:00	就業規則の整備と見直し ～ 労働問題リスクを減少させるポイント ～		
	道特会館 5階 大会議室B	労働政策局	会員 11,880円 一般 16,200円
8月27日(月) 10:00～16:00	これだけは知っておきたい『職場の法律知識』		
	道特会館 6階 中会議室	労働政策局	会員 14,040円 一般 18,360円
9月4日(火) 10:00～17:00	秘書実務研修講座 ～秘書としてレベルアップのために～		
	道特会館 6階 中会議室	労働政策局	会員 12,960円 一般 17,280円
9月11日(火) 10:00～16:00	『中堅社員を中核社員に変える20の要件』 ～意識は行動の原点～		
	道特会館 6階 中会議室	労働政策局	会員 12,960円 一般 17,280円

※講座・講習会の内容詳細及び申込書は当会ホームページにも掲載しております。

http://www.dokeiren.gr.jp/roudou_seisaku/seminer/

お問い合わせは 労働政策局 (TEL 011-251-3592) まで。

◆ 道経連 より

道内学生を対象とした「食」と「農」のコンテスト開催のお知らせ

当会は、北海道の食産業発展を目的とした道内学生の人材育成の一環で、(一社)日本能率協会様と共催で、食に興味がある道内学生を対象にコロッケのアイデアを考えてもらう『道産食材使用コロッケアイデアコンテスト』を、道内で農業を学ぶ学生を対象に北海道農業の未来や夢を語ってもらう『北海道農業の未来コンテスト』を開催いたします。

コンテストは、書類による1次審査を経て、2018年11月28日(水)～29日(木)の2日間、アクセスサッポロ(札幌市白石区)で、開催される“食のバリューチェーン”に関わる全ての製品・サービスが集う専門展示会「北海道アグリ・フードプロジェクト イベント&カンファレンス2018」内で、上位5作品(5名・団体)による公開審査を行い、大賞、特別賞を表彰します。

『道産食材使用コロッケアイデアコンテスト』の大賞受賞作品は協賛のサンマルコ食品(株)様で商品化を、『北海道農業の未来コンテスト』の大賞受賞者(団体)は業界誌の掲載等を予定しております。

【コンテスト概要】

1. 『道産食材使用コロッケアイデアコンテスト』

(1)テーマ 「家族の笑顔があふれる!北海道の食材を使ったコロッケ」

(2)応募受付期間 2018年6月25日(月)(受付中)～2018年8月31日(金)消印有効

(3)応募資格 北海道の食に興味がある道内学生(高校生・大学生・専門学校生)

(4)作品のガイドライン

①主な材料は北海道産とし、その他の材料も可能な限り北海道産を使用し、作成者の地元もしくは北海道の特徴が表されていること

②1個当たりの原材料価格を50円以内とし、作成すること(原材料をスーパー等で一般的に販売されている価格をもとに1個当たりに使用する重量で割って原材料価格を計算すること)

③油で揚げる調理を行うものとする

※作品は未発表のレシピに限る

※上記①に関して、以下のものを材料として使用は不可とする

・蕎麦を由来とする材料 ・落花生(ピーナツ)を由来とする材料

・生ものをそのまま使用する材料 ・納豆などの発酵食品を非加熱でそのまま使用する材料

※上記②に関して、以下のものは原材料費から除くものとする

・コロッケの衣に使用するパン粉、小麦粉、卵 ・揚げるために使用する油

※A4一枚で販売時に使用したいPOPを作成すること

(5)応募先・郵送 〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目3 札幌MNビル8階
北海道経済連合会 食クラスターグループ宛(担当:加藤)

2. 『北海道農業の未来コンテスト』

(1)テーマ 北海道農業の未来を語ろう「自分が輝く未来の北海道農業」

(2)応募受付期間:2018年6月25日(月)(受付中)～2018年8月31日(金)
(郵送の場合は消印有効)

(3)応募資格 北海道で農業を学んでいる学生(高校生・大学生・専門学校生)

※道内で就農を予定している他地区の学生も応募可能です。

(4)応募内容

以下の内容を踏まえ、3,000字程度のレポートにして応募してください

①北海道で営農する自分を思い描いた内容であること

②北海道農業における未来のビジョンを思い描いた内容であること

③5年後、10年後さらにその先で自分がそこで輝ける姿をイメージした内容であること

④自分の夢を語る内容であること

※他のコンテスト等で未発表の内容に限る

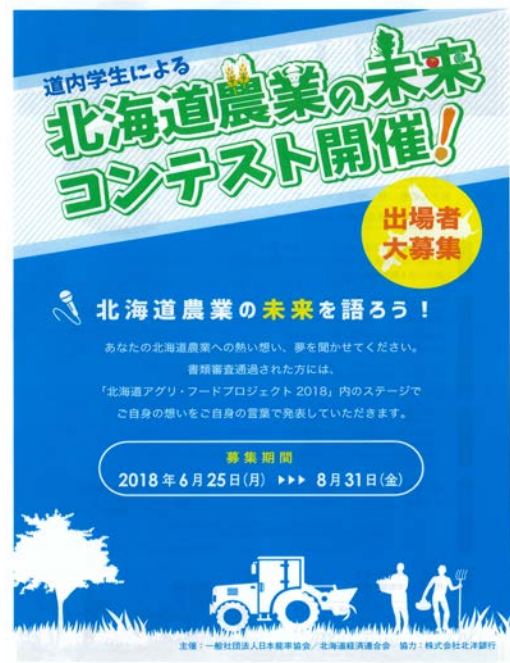
(5)応募先・郵送 〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目3 札幌MNビル8階
北海道経済連合会 食クラスターグループ宛(担当:加藤)

・Eメール kato.kohei@dokeiren.gr.jp

コンテストの詳細並びに応募用紙等のダウンロードにつきましては、北海道アグリ・フードプロジェクトホームページをご覧ください。

URL: <http://www.jma.or.jp/hafp/visit/kikaku.html>

たくさんの応募をお待ちしています。



◆ G空間EXPO運営協議会2018 より

北海道地理空間フォーラムin札幌 開催ご案内

「地理空間情報科学で未来をつくる」を統一テーマとして東京で開催している「G空間EXPO2018」の関連イベントとして、この度、札幌市にて「北海道G空間フォーラムin札幌」を開催する運びとなりました。（北海道初開催）

本開催は、産学官の連携により、地理空間情報がより広い分野で高度に活用されるために、地理空間情報を利活用した様々な取組、最新の技術動向等について紹介することを目的としております。

また、地理学・地質学・都市工学・デザインなどの分野の有識者を講師に迎え、防災・都市・景観・まちづくり・交通・観光・歴史文化等の行政担当者、教育関係者、企業関係者、研究者等の皆様と共に、街歩きやグループ討議を通して、各分野への地理空間情報の利活用について考える場、北海道エリアの地域間交流の場としたいと考えております。

皆様、お誘い合わせの上、是非ご参加ください。ご来場をお待ちしております。

開催日：2018年7月18日(水)～22日(金)

会場：かでの2・7他

参加費無料、事前登録が必要です。

詳細、お申し込みは下記よりお願いします。

<https://dghok.com/gf2018/>

主催

G空間EXPO運営協議会2018

(公益社団法人日本測量協会、一般社団法人全国測量設計業協会連合会、一般社団法人日本測量機器工業会、公益財団法人日本測量調査技術協会、一般財団法人衛星測位利用推進センター、gコンテンツ流通推進協議会、一般社団法人地理情報システム学会、内閣官房、内閣府宇宙開発戦略推進事務局、国土交通省国土政策局、国土交通省国土地理院、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構)

一般社団法人産学官研究フォーラム

特定非営利活動法人Digital北海道研究会

共催

北海道、札幌市、北海道経済連合会、札幌商工会議所、一般社団法人北海道広告業団体連合会、北海道屋外広告士会、一般社団法人日本写真測量学会北海道支部、北海道高度情報化農業研究会、特定非営利活動法人札幌オオドリ大学シオ部、NoMaps実行委員会、一般社団法人建設コンサルタント協会北海道支部

◆ 連合北海道ダイバーシティシンポジウム事務局 より

シンポジウム「多様な生き方、働き方」のご案内

連合北海道では、自らの障がい当事者としての経験を基に、障がい者・引きこもり・鬱病など、就労困難とされる人たちに対して雇用創出に取り組む成澤俊輔氏から講演いただき、支援を必要としている人々の働く現状を知り、多様な働き方について考えるシンポジウムを開催します。

○ダイバーシティシンポジウム「多様な生き方、働き方」

日時：2018年7月26日（木）14：00～16：30

場所：京王プラザホテル札幌 地下1階「プラザホール」（札幌市中央区北5条西7丁目）

主催：連合北海道

後援：北海道労働局、北海道、札幌市、道経連 ほか

内容：

挨拶 連合北海道会長、札幌市長

第Ⅰ部 講演 ～多様な生き方、働き方～

講師：NPO法人FDA 成澤俊輔 理事長

第Ⅱ部 トークセッション

詳しくは、下記のWEBサイトをご覧ください。

http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/wp-content/uploads/20180726_diversitysinpo2.pdf

【お問い合わせ】

連合北海道ダイバーシティシンポジウム事務局 担当：齋藤、佐々木、皆川

電話 011-210-0050

◆ 北海道 より

申請手続の簡素化に関するアンケート調査について

国においては日本再興戦略2016（平成28年6月2日閣議決定）に基づき、事業者の行政手続コストを削減し、生産性の向上を図ることを目的として、各省庁ごとに申請手続の簡素化に関する基本計画を策定し取組みを進めています。

こうした動きを踏まえ、道においても事業者や道民のみなさまの生産性向上に資するため、各種申請手続に要する作業時間の削減等による申請手続の簡素化に取り組むこととしており、この取組みを進めるに当たっては、日頃申請手続に関わる事業者や道民のみなさまのご意見を拝聴し、的確に把握することで効果を高めることができると考えています。

つきましては、事業者のみなさまを対象としたアンケート調査を次のとおり実施しますので、ご多忙の折恐縮ですが、本調査へのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

1 調査内容

別紙「申請手続の簡素化に関するアンケート調査【事業者向け】」（全6問）のとおりに

2 調査対象

道に申請手続を行うことがある全ての事業者

3 回答方法

次のいずれかの方法により回答することができます。

(1)webによる方法 道行政改革課ホームページ上専用アンケートフォームから入力

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/gkk/sinseitetuduki.htm>

(2)書面による方法（郵送、FAXまたは電子メール）

道行政改革課ホームページからアンケート用紙（WORD版・PDF版）をダウンロードし、必要事項を記載の上提出。

4 回答期限 2018年7月13日（金）

5 その他

(1)本調査の回答は匿名としていただきますので、ご回答内容による不利益が生じることはありません。

(2)アンケート調査の結果は、取りまとめ次第、道のホームページにより公開する予定です。

お問い合わせおよびアンケート送付先

北海道総務部行政改革局行政改革課（担当：久保）

住所：〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

TEL：011-204-5002 FAX：011-232-1257

メール somu.gyokaku1@pref.hokkaido.lg.jp

◆ 道経連 より

第3回「大学研究シーズ発見ツアー〈帯広畜産大学〉」のご案内

当会では、2017年度より産学マッチングの一環として標記ツアーを行っています。会員の皆様に理系大学をご訪問いただき、教授等から研究内容をお聞きし実際に研究室も訪問することで、今後のビジネスの御参考にさせていただければと考え実施しております。

第3回目となる今回は帯広畜産大学様を訪問いたします。
時節柄ご多用中のこととは存じますが、ご参加賜りますようお願いいたします。

なお、大変恐縮ではございますが、参加ご希望の際は添付の『FAX返信票』により、8月3日(金)までにご回答くださいますようお願いいたします。

日 時 : 2018年8月21日(火) 12:50~17:00

集合場所 : 帯広駅北口(12:50までに集合)

内 容 : 13:00~13:25 バス移動

13:30~16:30 帯広畜産大学(大学紹介・研究室視察)

16:30~17:00 バス移動(帯広駅北口にて解散)

※現時点では4件の研究室より説明を受ける予定。

参加費 : 無料

定 員 : 20名

視察先研究室(予定) :

- ・生命・食料科学研究部門 浦島匡教授・福田健二准教授
「乳タンパク質の健康機能性に関する研究」
「乳酸菌の機能性探索と機能性成分の分析」
- ・環境農学研究部門 佐藤禎稔教授
「先進的な十勝農業をスマート農業機械で支え、世界に誇れる農業へ
(スマート農業・ロボットトラクタ・精密農業・農薬散布)」
- ・環境農学研究部門 窪田さと子助教
「食の安全のミカタ、社会科学的な評価で美味しいを当たり前
(食の安全・行動経済学・リコモニケーション・GAP・HACCP)」
- ・人間科学研究部門 姜興起教授
「ナガイモの種イモ高速切断装置における人工知能の研究」

【担当】北海道経済連合会 産業振興グループ 本間・柄澤 Tel 011-221-6116

◆ 道経連 より

「夏季の省エネルギーの取組について」

2018年度夏季の電力需給は、供給に最低限必要とされる予備率3%以上を確保できる見通しであることから、国は、今年の夏については「節電要請」を行わないことにしましたが、安定的な電力需給の確保や地球温暖化対策の推進のため、引き続き産業界に対し、事業者及び家庭等に省エネルギーの呼びかけを行うよう、協力を要請しています。

会員各位におかれましては、これまで同様、それぞれのお立場で無理のない範囲で自主的な省エネに取り組んでいただくとともに、各ご家庭内での省エネにつきましても、従業員さまを通じて呼びかけていただくなどのご対応をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

○「夏季の省エネルギーの取組について」(経済産業省北海道経済産業局)

<http://www.hkd.meti.go.jp/hokpw/summer18/index.htm>

◆ 北大R&BP推進協議会事務局 より

第5回 北極域研究共同推進拠点 北極域オープンセミナーについて

温暖化による海氷減退などの環境変化を背景に、北極域は社会的・経済的变化に直面しています。このような変動を捉え、北極域をめぐるには、エネルギーをはじめとする資源開発や海運ネットワーク、農林水産業、観光、通信などの持続的利用に向けた可能性への議論が高まりつつあります。このような中、企業や官公庁の皆さまに北極域の最新情報を提供すると共に、新規参入の需要を喚起することを目的とします。

日時：2018年7月20日（金）13:00～18:00

会場：北海道大学 北キャンパス フード&メディカルイノベーション(FMI)
国際拠点ホール

主催：北極域研究共同推進拠点(国立大学法人北海道大学北極域研究センター、
大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所国際北極環境研究センター、
国立研究開発法人海洋開発機構北極環境変動総合研究センター)

参加費：無料(意見交換会については有料)

【リーフレット】

http://j-arcnet.arc.hokudai.ac.jp/wp-content/uploads/2018/05/20180720_posterA4.pdf

【申込書】 ※7月10日締切

<http://j-arcnet.arc.hokudai.ac.jp/news/21610/>

お問い合わせ先：

北極域研究共同推進拠点事務 (北海道大学北極域研究センター内)

j-arcnet@arc.hokudai.ac.jp

TEL：011-706-9074

◆ 北海道および道経連 より

夏休み体験イベント「モデルロケット体験教室」「みらい事業見学会」 「スペース スタディin とかち」のご案内

北海道と道経連では、北海道150年事業として、次世代層を対象とした下記の夏休み体験プロジェクトを実施します。多くのお子さま方のご参加をお待ちしております。

○「モデルロケット体験教室」

北海道では、モデルロケットの製作、打上げの体験を通して、こどもたちの宇宙に対する理解や関心を高めることを目的とした体験教室を開催します。

日時・場所：

2018年7月25日(水) 13:00～16:30	稚内市	道立宗谷ふれあい公園
7月26日(木) 9:00～12:30	北見市	道立北見高等技術専門学院
7月30日(月) 9:00～12:30	函館市	国際水産・海洋総合研究センター

内容：

- ・(株)植松電機 植松努社長の講話
- ・モデルロケット[北海道150年ロケット]の製作、打上げ体験

対象：小学生(3年生以上)、中学生

主催：北海道

参加者の募集：・各会場 申し込み先着順で50名 ・参加費無料

応募方法：

メールにより受付 あて先 sogo.kagi1@pref.hokkaido.lg.jp

メールには次の事項を記載ください。

「希望する会場(稚内、北見、函館のいずれか)」

「参加者のお名前、学校名、学年、保護者のお名前、メールアドレス」

お問い合わせ：北海道経済部 産業振興局 科学技術振興室 産学官連携グループ
担当/北風、渋谷(電話 011-204-5127)

○「みらい事業見学会」

道経連では、北海道の未来を支える先進的産業を体験してもらう見学会を開催します。

日時：2018年8月4日（土）7：30～16：30

場所：(株)植松電機（赤平市）、北海道大学（構内）

対象：小学校高学年（5・6年生）および中学生 40名

（なお、ご応募多数の場合は、抽選とさせていただきます。）

主催：北海道経済連合会

内容・行程：

7:30 バス乗車・出発（集合：7時20分 札幌時計台前）
9:00～12:00 (株)植松電機様にて、植松努社長の講話、モデルロケットの製作・打ち上げ体験
12:40～13:40 昼食（砂川ハイウェイオアシスを予定）
15:00～16:00 北海道大学構内（農場など）にて、ロボットトラクターの自動走行や協調作業などを見学
16:30 解散（札幌駅北口）

費用：参加費としまして、お一人1,000円を申し受けます。

申込方法：メールにて、右記の申込先アドレス info@dokeiren.gr.jp

へ、次の事項を記載のうえ、お申込み願います。（ご応募締め切り：7月20日（金））

- ① 参加者の氏名、学年 ② 郵便番号、住所 ③ 電話番号
- ④ 保護者の氏名、メールアドレス（ご参加確定の連絡等をいたします。）

お問い合わせ：北海道経済連合会 企画総務グループ
担当／若松、猪狩（電話 011-221-6166）

○「スペース スタディ in とがち」

北海道では、宇宙科学技術分野で活躍するベンチャー企業による講義や現場体験を行う、夏休み特別プログラムを開催します。

日時：2018年8月1日（木）11：00～16：30

場所：大樹町SORA、インターステラテクノロジズ工場および射場

対象：道内の高校生・高専生 50名（参加費無料、集合場所までは参加者負担）

主催：北海道 共催：とがち航空宇宙産業基地誘致期成会、大樹町

内容：11:00～12:00 インターステラテクノロジズ稲川社長による講義
12:00～13:00 昼食（宇宙日本食の試食）
13:00～15:00 インターステラテクノロジズ工場見学／射場見学
15:00～16:30 アクセルスペース中村社長による講義

送迎：帯広駅と札幌駅の二カ所から送迎バスを用意いたします。

A. 「帯広駅発着」 出発時刻 9：45 帰着時刻 18：15

B. 「札幌駅発着」 出発時刻 7：00 帰着時刻 21：00

申込方法：7月23日（月）まで先着順

メールにより受付 あて先 sogo.kagi1@pref.hokkaido.lg.jp

メールには次の事項を記載ください。

「送迎バスの利用希望（札幌、帯広、利用しないのいずれか）」

「参加者のお名前、学校名、学年、保護者のお名前、電話番号、メールアドレス」

お問い合わせ：北海道経済部 産業振興局 科学技術振興室 産学官連携グループ
担当／北風、渋谷（電話 011-204-5127）

申請手続の簡素化に関するアンケート調査【事業者向け】

【下記の設問よりお答えください】

Q 1 あなたの組織または法人が関わる事業について、最も近いと思われる業種を1つ選択してください。

- ① 農業・林業
- ② 漁業
- ③ 鉱業・採石業・砂利採取業
- ④ 建設業
- ⑤ 製造業
- ⑥ 電気・ガス・熱供給・水道業
- ⑦ 情報通信業
- ⑧ 運輸業・郵便業
- ⑨ 卸売業・小売業
- ⑩ 金融業・保険業
- ⑪ 不動産業・物品賃貸業
- ⑫ 学術研究・専門・技術サービス業
- ⑬ 宿泊業・飲食店
- ⑭ 生活関連サービス業・娯楽業
- ⑮ 教育学習支援業
- ⑯ 医療・福祉
- ⑰ 複合サービス事業
- ⑱ サービス業（他に分類されないもの）
- ⑲ その他（ ）

Q 2 あなたの組織または法人が関わる事業について、道に対し行っている申請手続について主に該当する内容を1つ選択してください。

- ① 登録（具体的に ）
- ② 許認可（具体的に ）
- ③ 届出（具体的に ）
- ④ 交付（具体的に ）
- ⑤ 免除（具体的に ）
- ⑥ その他（具体的に ）

Q 3 現状、その申請手続に関して負担または不満を感じていますか？

- ① 感じている →Q 4へ
- ② 感じていない →Q 6へ

Q 4 申請手続のどのような点に負担または不満を感じていますか？

[複数回答可]

- ① 申請様式の記載方法、記載内容が分かりにくい
- ② 提出書類の作成に時間がかかる
- ③ 組織・部署毎に申請様式・書式等が異なる
- ④ 審査・判断基準が分かりにくい
- ⑤ 組織・部署・担当者毎により審査・判断基準が異なる
- ⑥ 要求根拠が不明の資料の提出を求められる
- ⑦ 同じ書類を複数の組織・窓口に出さなければならない
- ⑧ 添付書類が多く用意が大変
- ⑨ 電子化が全部または一部対応されていない
- ⑩ 電子化はされているが使いにくい
- ⑪ 手続に要する期間が長い
- ⑫ 手続に要する期間が事前に示されない
- ⑬ 手続の流れが分かりにくい
- ⑭ 申請受理後の行政内部での進捗状況が分からない
- ⑮ 手数料等申請費用が高額
- ⑯ その他 ()

Q 5 負担または不満を解消するためにどのような改善方法を要望しますか？

[複数回答可]

- ① 手続の電子化
- ② 一度提出した資料は、再び提出する必要がない仕組みづくり
- ③ 書式・様式の統一
- ④ わかりやすい情報の提供 (ホームページ等による情報発信の充実等)
- ⑤ 相談窓口・体制の充実
- ⑥ 申請方法の充実
- ⑦ 審査・発行期間の短縮
- ⑧ 申請窓口の一元化
- ⑨ 手数料納付方法の多様化 (コンビニ納付やクレジットカード収納等)
- ⑩ 手数料等費用の低額化
- ⑪ その他 ()

Q 6 申請手続全般に関するご意見やご提案等ご自由にお書きください。

[1,000字以内]

※本調査は匿名での記述としていますが、差し支えなければ具体的な手続内容や事業者名を記載いただいても構いません。

()

ご協力ありがとうございました。

本アンケートにいただいたご意見を参考として、道における申請手続の簡素化に向けた取組みを進めてまいります。

なお、本アンケート調査の結果は取りまとめ次第、道行政改革課のホームページに公開する予定です。

FAX 返信票

(北海道経済連合会 FAX番号 011-221-3608)

※ 8月3日(金)までにご回答願います。

2018年 月 日

北海道経済連合会 宛

第3回「大学研究シーズ発見ツアー〈帯広畜産大学〉」申込書

日 時：2018年8月21日(火) 12:50～

場 所：帯広畜産大学(集合場所：帯広駅北口)

1 本件に係るご連絡先

本件に係る御社・団体のご担当者様及びご連絡先について御記入ください。

会社・団体名	
ご担当者様 御役職	
ご担当者様 御氏名	
電話番号	

2 参加者

御参加いただける方の御所属、御役職、御氏名を御記入ください。

御所属	御役職	御氏名

※ いただいた個人情報は、本視察会以外には利用しません。

・送付状は必要ございませんので、『FAX 返信票』のみを送信してください。